

早稲田大学 大学院法学研究科
2025 年度 修士課程入学試験問題（社会人入試）
【小論文】

社会人研究課題

「 社会保障、社会福祉・成年後見の法と行政 」

以下の 6 問のうち、いずれか 1 つを選択して解答しなさい。なお、現時点で成年後見制度に関わる研究テーマを希望する人は、特段の事情なき限り成年後見関連のテーマを選択すること。

- 1 社会保障行政機関の専門技術的判断に関し、訴訟事件を 1 つ取り上げ、そこにおける司法審査の方法をめぐる問題を論じなさい。
- 2 成年後見制度の開始要件に関する現行規定には、どのような問題点があるか。民法（成年後見等関係）の改正をめぐる議論の状況を踏まえつつ論じなさい。
- 3 人口減少社会における社会保障法の課題と展望を、制度の持続可能性の観点から、社会保障の各分野について論じなさい。
- 4 社会保障給付の申請手続において行政機関が行うべき教示に関し、訴訟事件を 1 つ取り上げ、そこにおける手続的権利の保障をめぐる問題を論じなさい。
- 5 成年後見制度と日常生活自立支援事業との違いに触れたうえで、判断能力が不十分な成年者の支援において成年後見制度に期待される役割について論じなさい。
- 6 近時の社会保障制度改革の柱である「地域共生社会の推進」の観点から、どのような制度改革が行われ、今後どのような改革が求められるかについて論じなさい。

答案の書き方（○横書／縦書） 六法全書の使用を（認める／○認めない）